

## ☆あきらめない心

求めなさい。そうすれば、与えられる。  
探しなさい。そうすれば、見つかる。  
門をたたきなさい。そうすれば開かれる。

(マタイによる福音書7章7節)

国公立大前期日程の合格発表があった。センター試験で志望校のD判定をくつがえして合格した3年生がいた。教科指導や小論文、面接指導では何度も叱責・激励され2次試験で挽回した3年生がいた。自分のふがいなさに教科指導を途中で投げだし、3日後に先生の指導を再び請いにやってきた3年生がいた。夢をあきらめずに再び前を向いた。難関大に合格した。

前期不合格だった。中期・後期に賭ける3年生がいる。卒業しても尚志館で朝早くから勉強する3年生がいる。チャンスはまだある。自分を信じて取り組んでいる。

入試とは自分を見直し、鍛える場である。不安のつものなか、自分自身との戦いである。安易に妥協することなく、苦勞の末に勝ち得たものは大きい。不幸にも不合格となっても、その体験は後につながる大きな財産となる。

1・2年生の皆さん。3年生は皆さんの手本となる存在であった。生徒会活動や部活動をこなしつつ、大学進学をめざして頑張ってきた。何事にもひたむきに取り組む姿勢は合格実績で証明してくれた。先輩達は背中では皆さんに示してくれたのである。夢見ることをやめた時、夢は終わる。何事にもフル・スイングしていこう。

## ☆国公立大前期日程 現役60名合格！

2月25日に前期日程試験が各大学で行われ、3月1日の卒業式をはさみ、6～9日にかけて合格発表があった。セ試では英語の易化(全国平均昨年比+11点)、国語の難化(同-22点)などにより、思うように点数が取れず、志望校変更や苦しい戦いを強いられた3年生も少なくなかった。しかし、この逆風をはねのけ、前期日程で60名が合格した。前期日程のみでこの合格者数は創立以来の記録である。また、私立大合格者も延べ400名近くに達している。

【前期日程 国公立大現役合格者】(推薦10+前期50) H29年3月9日段階

北海道教育大	5	室蘭工業大	1	山形大	2	茨城大	20
宇都宮大	2	群馬大	1	電気通信大	1	横浜国立大	1
広島大	1	岩手県立大	1	秋田県立大	1	茨城県立医療大	7
群馬県立女子大	1	高崎経済大	4	首都大東京	1	神奈川保福大	1

横浜市立大	2	新潟県立大	1	富山県立大	1	都留文科大	2
福知山公立大	1	島根県立大	1	新見公立大	1	名桜大	1

なお、特筆すべきことはこの60名中、部活動参加者が実人数52名を占めていることである(下表参照。なかには2つの部活動をかけ持ちした人もいる)。時間を上手に使って勉強と両立させたり、部活動で培った集中力で引退後にスパートをかけたりした努力の結果であろう。このことは本校の精神である「文武不岐(文武両道)」を示してくれた。1・2年生の皆さん、部活動で得るものは多い。勉強がおろそかになるのは決して部活動のせいではない。

サッカー部	8	ソフトテニス部	2	バスケットボール部	4	バレーボール部	1
ハンドボール部	4	弓道部	4	硬式野球部	4	柔道部	1
水泳部	1	卓球部	2	陸上競技部	4	書道部	1
ライフサイエンス部	2	囲碁・将棋部	2	演劇部	1	競技かるた部	1
吹奏楽部	8	茶道部	1	美術部	2		

## ☆1年間のふり返り

### ①新2年生

- ・毎日の予習・復習はきちんとできているか。忙しさに左右されずに授業を中心とした学習を続けることが大切。もう一度自宅での学習内容を振り返ろう。
- ・ポイントは「予習 → 授業 → 宿題・復習・質問」の学習サイクルを早く自分のものにすること。

### ③新3年生

- ・毎日決まった時間に学習するという生活の中で習慣をつけよう。部活動が忙しい人もいるが、時間の使い方を工夫して学習時間を確保しよう。
- ・志望校は決まっているか。目標が決まれば「目標達成に必要な学力」と「現在の学力」とのギャップを把握でき、「これから何をすべきなのか」が明確になる。
- ・4月から多くの模試を受ける。模試を活用しながら自分の勉強を深めよう。ポイントは受験後にももらう「解答解説」を丁寧に読み、弱点分野を補強しよう。
- ・受験勉強の基本は授業である。これからの入試では「暗記だけ」では太刀打ちできない。「なぜそうなるのか」や「関連づけて全体を把握」する力が必要になる。まずは、分からない点はどんどん先生方に質問しよう。

### 転石流石

4月は、いきなり実力考査からスタートします。新学期は最初の入り方が大切です。新1年次生も入学してきます。皆さんがそうであったように、良き先輩として後輩達の面倒を見てあげてください。